

2016年3月期(平成28年3月期)

第2四半期決算説明会

2015年11月27日

株式会社ジャムコ

技術のジャムコは、 士魂の気概をもって

- 一、夢の実現にむけて挑戦しつづけます。
- 一、お客様の喜びと社員の幸せを求めています。
- 一、自然との共生をはかり、豊かな社会づくりに貢献します。

- この資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来に関する見通しであり、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度に関するさまざまなリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績はこれらの見通しとは異なる結果があり得ることをご承知おきください。
- この資料における数値は、表示桁未満を四捨五入して作成、表示しております。したがって、決算短信、有価証券報告書など、表示桁未満を切捨てにて作成、表示している資料とは末尾数値が異なる箇所がございますのでご了承ください。
- 本資料を(株)ジャムコの許可無く転載・複写することを禁じます。又、本資料を使用することにより生じたいかなる損害について(株)ジャムコは一切責任を負いません。



Contents

SECTION

1

2016年3月期 第2四半期決算の状況

- 04 | グループ連結P/L (前年同期比)
- 05 | セグメント別売上高 (前年同期比)
- 06 | セグメント別経常利益 (前年同期比)
- 07 | グループ連結P/L (当初計画比)
- 08 | セグメント別売上高 (当初計画比)
- 09 | セグメント別経常利益 (当初計画比)
- 10 | グループ連結B/S
- 11 | グループ連結 減価償却費/設備投資額/試験研究費
- 12 | グループ各社の状況 (FY15/上期)
- 13 | 通期見通し

SECTION

2

重要項目と課題進捗

- 15 | 中期ビジョン
- 16 | 中期の課題と対応
- 17 | (1) 中期課題の進捗
- 19 | (2) シート事業
- 20 | (3) 増産対応とコスト削減の取組み

2016年3月期 第2四半期決算の状況

- 04 | グループ連結P/L (前年同期比)
- 05 | セグメント別売上高 (前年同期比)
- 06 | セグメント別経常利益 (前年同期比)
- 07 | グループ連結P/L (当初計画比)
- 08 | セグメント別売上高 (当初計画比)
- 09 | セグメント別経常利益 (当初計画比)
- 10 | グループ連結B/S
- 11 | グループ連結 減価償却費／設備投資額／試験研究費
- 12 | グループ各社の状況 (FY15/上期)
- 13 | 通期見通し

SECTION

1

グループ連結P/L(前年同期比)

【単位:百万円】

	FY15上期 (実績)	FY14上期 (実績)	増減	増減率 (%)
売上高	42,555	34,413	8,142	24
営業利益	3,908	3,137	772	25
経常利益	3,981	3,596	385	11
税引前利益	3,970	3,990	△ 20	△ 1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,691	2,539	152	6
1株当たり四半期純利益 (円)	100.31	94.64	—	—
売上為替レート (円/USドル)	121.49	102.45	—	—

セグメント別売上高(前年同期比)

【単位:百万円】

	FY15上期 (実績)	FY14上期 (実績)	増減	増減率 (%)
売上高	42,555	34,413	8,142	24
内装品セグメント	35,157	28,854	6,303	22
機器製造セグメント	3,409	2,274	1,134	50
整備セグメント	3,989	3,285	705	21

Point

- 内装品は787関連、ギャレー、スペアパーツ等の販売が好調で増加／円安による外貨建て売上高の増加
- 機器製造は防衛関連部品の販売回復、円安効果を含めADP関連製品の販売好調により増加
- 整備は前期からの機体納品スケジュール変更や追加整備作業により増加

セグメント別経常利益(前年同期比)

【単位:百万円】

	FY15上期 (実績)	FY14上期 (実績)	増減	増減率 (%)
売上総利益	8,497	7,042	1,455	21
販管費	4,589	3,906	683	17
営業外損益	73	460	△ 387	△ 84
経常利益	3,981	3,596	385	11
内装品セグメント	3,653	3,867	△ 215	△ 6
機器製造セグメント	248	△ 358	606	—
整備セグメント	80	79	1	1
その他	2	9	△ 7	△ 81

(注1)「その他」はオレンジジャムコ、ジャムコテクニカルセンターの事業を含んでおります。

Point

■ 利益面

- 内装品はスペアパーツ販売の増加や円安による増益効果があったもののシートの損失増加により減少
- 機器製造は防衛関連部品の販売回復により増加
- 整備は機体整備が堅調に推移したものの採算性の厳しい一部の装備品整備により微増

■ 販管費

- 業容拡大に伴い人件費、販売手数料、保証工事費等の経費が増加

■ 営業外損益

- 急激な円安の影響を受けた前年同期に対し為替差益が減少

グループ連結P/L(当初計画比)

【単位:百万円】

	FY15上期 (実績)	FY15上期 (当初計画)	増減	増減率 (%)
売上高	42,555	44,489	△ 1,934	△ 4
営業利益	3,908	4,186	△ 278	△ 7
経常利益	3,981	4,038	△ 57	△ 1
税引前利益	3,970	4,021	△ 52	△ 1
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,691	2,588	103	4
1株当たり四半期純利益 (円)	100.31	96.43	—	—
売上為替レート (円/USドル)	121.49	115.00	—	—

(注)当初計画とは、2015年5月11日の決算発表時の業績予想数値です。

セグメント別売上高(当初計画比)

【単位:百万円】

	FY15上期 (実績)	FY15上期 (当初計画)	増減	増減率 (%)
売上高	42,555	44,489	△ 1,934	△ 4
内装品セグメント	35,157	37,334	△ 2,177	△ 6
機器製造セグメント	3,409	3,546	△ 138	△ 4
整備セグメント	3,989	3,608	381	11

(注)当初計画とは、2015年5月11日の決算発表時の業績予想数値です。

Point

- 内装品はスペアパーツ販売の増加や円安による外貨建て売上高の増加があったもののシートの納品時期が下期以降にずれ込んだことなどで減少
- 機器製造はエンジン部品の受注が低調で減少
- 整備は前期からの機体納品スケジュール変更や追加整備作業により増加

セグメント別経常利益(当初計画比)

【単位:百万円】

	FY15上期 (実績)	FY15上期 (当初計画)	増減	増減率 (%)
売上総利益	8,497	8,833	△ 335	△ 4
販管費	4,589	4,646	△ 57	△ 1
営業外損益	73	△ 148	221	—
経常利益	3,981	4,038	△ 57	△ 1
内装品セグメント	3,653	3,807	△ 154	△ 4
機器製造セグメント	248	238	10	4
整備セグメント	80	△ 2	82	—
その他	2	△ 5	7	—

(注1) 当初計画とは、2015年5月11日の決算発表時の業績予想数値です。

(注2) 「その他」はオレンジジャムコ、ジャムコテクニカルセンターの事業を含んでおります。

Point

■ 利益面

- 内装品はスペアパーツ販売の増加や円安による増益効果があったもののシートの損失増加により減少
- 機器製造は防衛関連部品の販売回復により増加
- 整備は機体整備の作業量が想定よりも堅調に推移したことにより増加

■ 販管費

- 保証工事費が増加したものの試験研究費や人件費等の経費が減少

■ 営業外損益

- 為替差益、助成金収入等により営業外収益が増加

グループ連結B/S

【単位:百万円】

科目	FY15 2Q 末 2015年9月30日現在	FY14 末 2015年3月31日現在	増減
〈資産の部〉			
流動資産			
現金及び預金	4,572	3,050	1,522
受取手形及び売掛金	18,728	20,677	△ 1,949
棚卸資産	43,719	37,385	6,334
その他流動資産	7,063	7,620	△ 557
流動資産合計	74,083	68,732	5,350
固定資産			
有形固定資産	14,243	13,693	550
無形固定資産	1,113	1,217	△ 104
投資その他の資産	3,956	4,279	△ 324
固定資産合計	19,312	19,189	123
資産合計	93,395	87,922	5,473

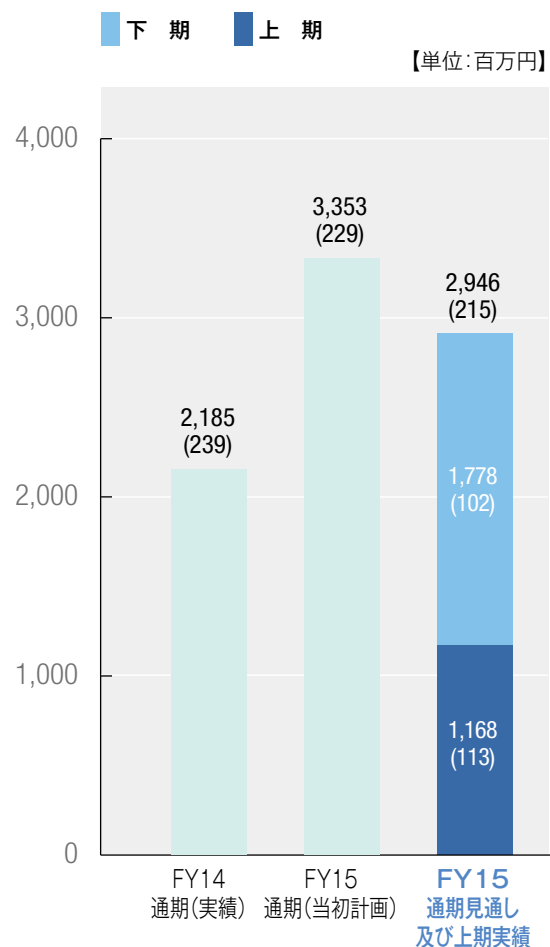
科目	FY15 2Q 末 2015年9月30日現在	FY14 末 2015年3月31日現在	増減
〈負債の部〉			
流動負債			
支払手形及び買掛金	14,937	14,103	834
短期借入金	23,974	24,247	△ 273
その他流動負債	16,915	14,604	2,310
流動負債合計	55,825	52,954	2,871
固定負債			
長期借入金	4,452	3,358	1,095
その他固定負債	6,903	7,112	△ 209
固定負債合計	11,355	10,470	885
負債合計	67,181	63,424	3,756
〈純資産の部〉			
純資産合計	26,215	24,498	1,717
負債及び純資産合計	93,395	87,922	5,473

Point

- 787増産対応、シート事業拡大で棚卸資産が増加 **(+63億円)**
- その他流動負債の工事損失引当金 10億円 → 19億円 **(+9億円)**
- 自己資本比率 27.0% → 27.2% **(0.2%上昇)**

グループ連結 減価償却費/設備投資額/試験研究費

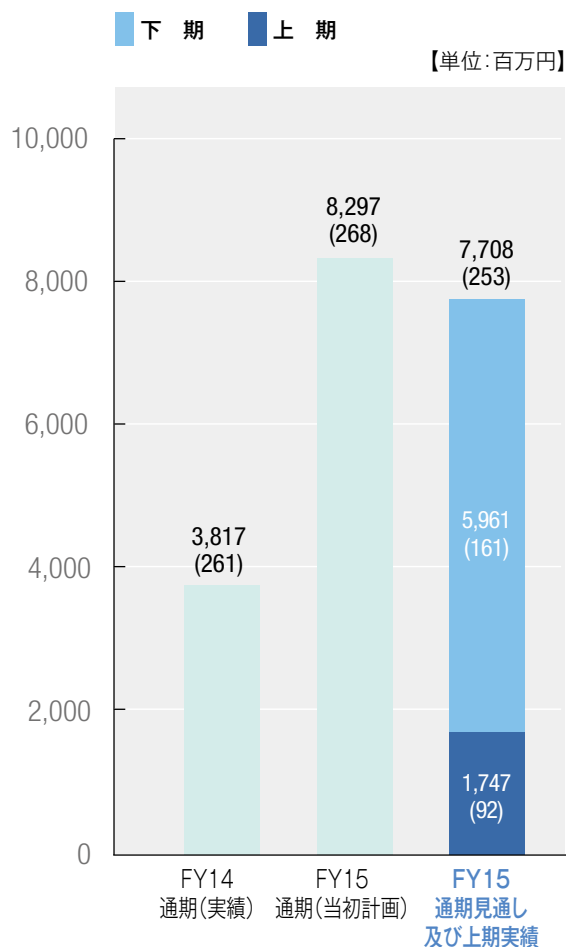
減価償却費(連結)



※()内はリース資産分。

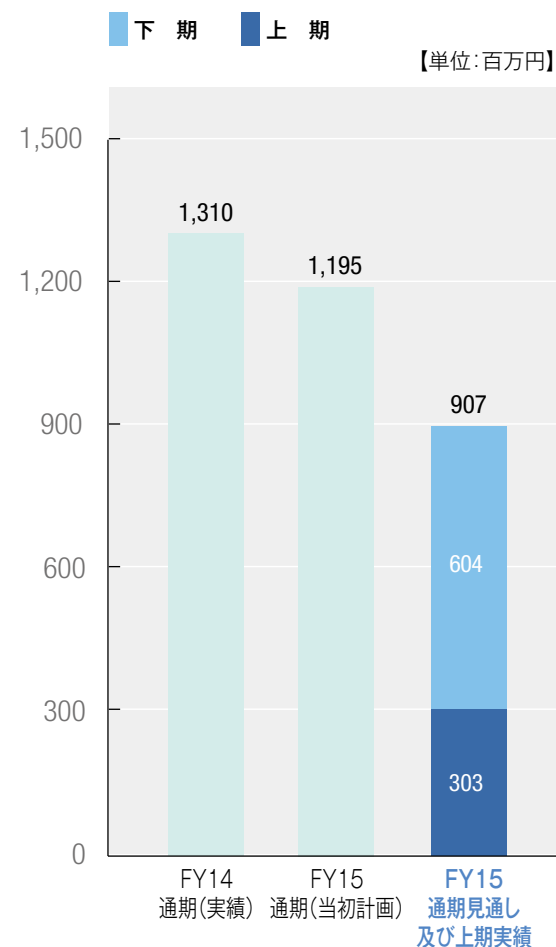
(注)当初計画とは、2015年5月11日の決算発表時の業績予想数値です。

設備投資額(連結)



※設備投資には()内の全リース物件を含む。

試験研究費(連結)



グループ各社の状況(FY15/上期)

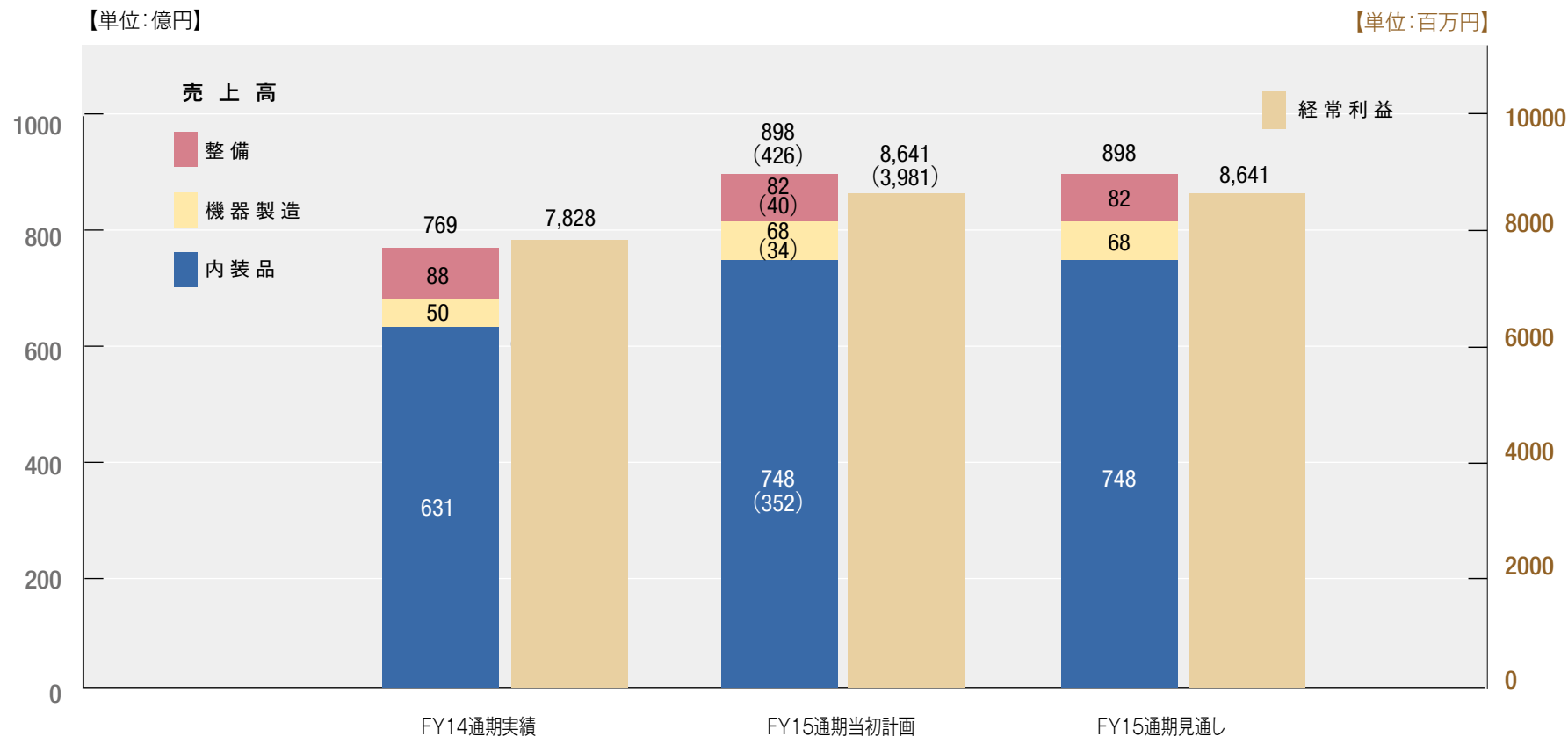
	当社	新潟 ジャムコ	宮崎 ジャムコ	ジャムコ アメリカ	ジャムコ エアロデザイン エンジニアリング	ジャムコ フィリピン	ジャムコ シンガポール	ジャムコ エアロ マニファク チャリング	徳島 ジャムコ	ジャムコ エアロテック	その他	シンガポール ジャムコ サービス
売上高	38,382	2,117	1,534	8,759	691	330	2,068	613	378	164	67	1,673
営業利益	3,702	257	△ 11	△ 4 (△ 121)	78	48	113	61	19	2	4	74
経常利益	3,714	264	△ 10	△ 63 (△ 180)	78	46	119	86	19	3	4	74
当期純利益	2,618	175	△ 7	△ 44 (△ 121)	66	39	99	57	11	1	3	62

(注1)「その他」はオレンジジャムコ、ジャムコテクニカルセンターの合算値です。

(注2)シンガポールジャムコサービスは持分法適用関連会社です。

(注3)ジャムコアメリカは787関連開発費の償却について当社と同じ基準で会計処理しています。括弧内の数値は「米国基準」における数値です。

通期見通し



Point

- 下期の想定為替レートは当初計画115円/USドルから120円/USドルに変更
- 売上高は第3四半期以降に増加するシートの販売により当初計画値に達する見込み
- 経常利益は上期に工事損失引当を計上した影響で第3四半期以降の利益率が良化し当初計画値に達する見込み

重要項目と課題進捗

- 15 | 中期ビジョン
- 16 | 中期の課題と対応
- 17 | ① 中期課題の進捗
- 19 | ② シート事業
- 20 | ③ 増産対応とコスト削減の取組み

SECTION

2

中期ビジョン

- **航空機分野に特化し、内装品事業を基軸に、機器製造、航空機整備の機能を併せ持つオンリーワンの航空機総合企業を目指す**

中期経営方針

- **連結売上高1,000億円に向けた成長戦略の実行**
- **優れた品質と技術に更に磨きをかけ、革新的製品を投入**
- **Capacityの増強とCapabilityの強化に向けた投資の実行**
- **グループ連結経営の強化**
- **オンリーワンに相応しい収益力を持つ『強い会社』の実現**
 - 連結売上高経常利益率:7%以上、10%を目指す
 - 連結ROA(総資産経常利益率):7%以上、10%を目指す

内装品セグメント

- ① 生産技術の革新を加速し、コスト競争力を強化
- ② サプライチェーンを強化し、品質・コスト・リードタイムを改善
- ③ 革新的な技術と製品により競争力を強化し、世界シェアNO.1を確保

機器製造セグメント

- ① 品質及び生産効率向上を追求し、収益性を向上
- ② 新たな顧客開拓を促進し受注拡大
- ③ 新たな開発プロジェクトへの参画を通じた新製品の受注

整備セグメント

- ① 飛行安全の確保と品質保証体制の強化
- ② 機体整備の新たなビジネスモデルの構築
- ③ 海外市場への展開やメーカーとの協業

① 中期課題の進捗①

内装品セグメント

生産性の向上

- ギャレー、ラバトリー製造工程の進捗状況管理システム導入
- 中条資材物流施設が本格稼働
- 自動化、機械化の推進 ロボット導入



LavatoryX

技術革新の推進

- 将来航空機用化粧室『LavatoryX』のデザインコンセプト公表
- デザインコンセプト:DoveTail, Serenity, New コンセプト Galley 及び Seat
- 要素技術開発:新軽量金属、複合材、シート関連機器

成長戦略の実行

- シート事業の本格展開
- ボーイング777X向け新型ラバトリー受注
- 777 フロアパネル製造拠点となるフィリピン第二工場竣工、生産開始
- エアバスA350向けICE (Increased Cabin Efficiency) リアギャレーを受注
- 777-300ER向けBFEギャレーの受注は堅調に推移



©AIRBUS Operations GmbH 2015-Computer rendering by ECIU41-Subject to final design

エアバスA350向け ICEリアギャレー

① 中期課題の進捗②

機器製造セグメント

新たな顧客開拓

- エアバス機の新たな部位のADP製品受注に向けた開発の推進
・ジャムコエアロマニューファクチャリングに専用設備を導入

収益性の回復

- 前年度低調に推移した防衛関連製品の受注が回復

整備セグメント

飛行安全

- 認定事業場中間更新検査受検に対応中

新たなビジネスモデル

- 航空機部品販売ビジネスに取り組み中
- 海外装備品整備に向けて装備品メーカーとの連携

2014年4月 航空機用シート分野への参入

- 航空機内装品事業の4つめの柱に成長させる
- 客室全体をプロデュースするトータル・インテリア・インテグレーターの品揃えを飛躍的に向上させる
- プレミアムクラスシートを中心に取組む
- ローンチカスタマーはシンガポール航空 4つのプロジェクト(納入完了1件、出荷開始2件、1件開発中)
- 第二弾はエアバスカタログシート(ACS) 納入開始 来年初めにお披露目
- ボーイング、エアバス機向けに複数商談中
- 国内外の戦略パートナーと組むことで技術開発力、製造能力を強化

納入・売上状況

- 品質・納期共に良好
- 2016年度黒字化に向けて各種施策を実行中

対応策

- 客先との仕様決定プロセスの改善
- 製造原価低減に向けた設計面からの見直し
- サプライチェーンマネジメントの強化
- 委託先、購買先との価格交渉
- シート製造専用工場を宮崎ジャムコに立ち上げ 12月稼働開始 自動化、ロボットの導入
- シートプログラムの予実・原価管理、原価低減策を実行する専門組織の立ち上げ
- プロジェクトマネジメント能力の強化
- ロジスティックスの改善

③ 増産対応とコスト削減の取組み

2015年、787向けギャレー、ラボトリーの製造数量は月産12機

今後の月産14機への増産に向けた施策

- **新潟地区生産工場の製造エリア拡張**
 - 効率的なレイアウト配置 ムービングラインの増設
 - 新潟ジャムコ第二工場の取得(エアバスA350向けICEリアギャレー)
 - 生産状況の見える化促進(新潟、宮崎、立川の連携)
- **資材物流施設の完成による物流の効率化**
- **中条ジャムコの設立**
 - 土地(12,000㎡) 工場(6000㎡)+100名の従業員を採用
- **新型生産設備、自動化、ロボットの導入による生産性向上**

コスト低減策

- **客先との仕様、設計の見直しによる原価低減活動**
- **サプライチェーンマネジメントの強化——リソース管理、欠品撲滅、品質向上**
- **設計変更を含む、部材費、外注加工費の削減活動**
- **設計開発コストの低減、自動化の拡充**
- **ロボットなど自動化機器の導入**
- **組立工程の一部外注化**
- **委託先の開拓、育成**

2016年3月期 第2四半期決算説明会 添付資料

- 22 | 企業グループ概要
- 23 | 事業概要/内装品カンパニー①
- 24 | 事業概要/内装品カンパニー②
- 25 | 事業概要/機器製造カンパニー
- 26 | 事業概要/整備カンパニー
- 27 | 事業概要 /国内関連会社
- 28 | 事業概要 /海外関連会社
- 29 | 経営環境と市場動向－航空機メーカーの動向
- 30 | 経営環境と市場動向－新型旅客機の開発・生産状況
- 31 | ボーイング、エアバス2015年実績
- 32 | ボーイング(2015年1月～9月累計)
- 33 | エアバス(2015年1月～9月累計)
- 34 | 世界の航空旅客予測
- 35 | ジェット機の運航機材構成予測

SECTION 3

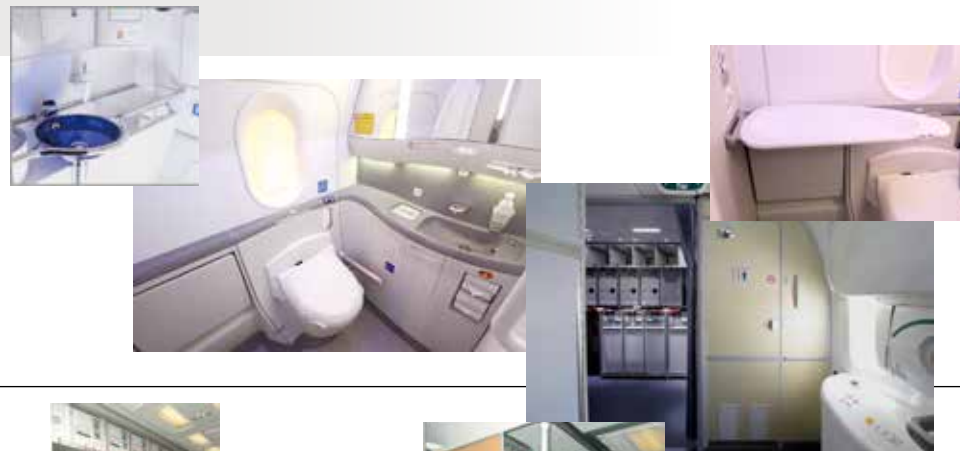
企業グループ概要



航空機内装品カンパニー①

航空機用ラバトリー(化粧室)の製造

- ボーイング747-8・767・777・777X・787向け
ラバトリーを独占供給



航空機用ギャレー(厨房設備)の製造

- ボーイング747-8・777・787・767・737に搭載
- エアバスA380・A330・A340・A320に搭載
- 世界の航空会社約100社へ納入
- 787向けギャレーを独占供給
- A350向けICE (Increased Cabin Efficiency) リアギャレーを供給



航空機用フロアパネル(客室床板)の製造

- ボーイング社より777向けに独占供給



航空機内装品カンパニー②

航空機用シート事業

- エアバス向けA350 ACS (Airbus Contracted Supplier) シート
商品名Journey™ ビジネスクラスシート
- シンガポール航空向けファースト、ビジネスクラスシート
ボーイング777-300ER用ファースト、ビジネスクラスシート
- 新型プレミアムシートDoveTailの顧客獲得を目指す



航空機改修事業

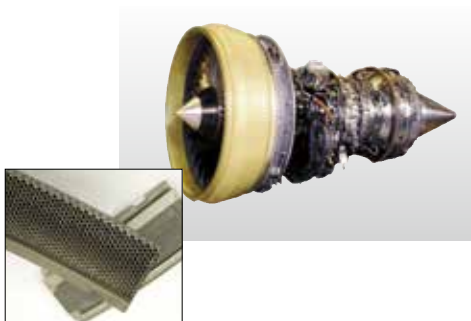
- 客室内装備品の新規搭載、配置換え、及びキャビンクルーの
休憩室搭載等に関する、設計、プロジェクトの管理、取付用部品の
製造と認証取得
- アメリカ連邦航空局 (FAA) よりODA認定を取得 (ジャムコアメリカ)
FAAに代わって航空機客室改造の追加型式認証の発行が可能
- 欧州航空安全庁 (EASA) より設計認証 (DOA) を取得 (ジャムコエアロデザイン & エンジニアリング)



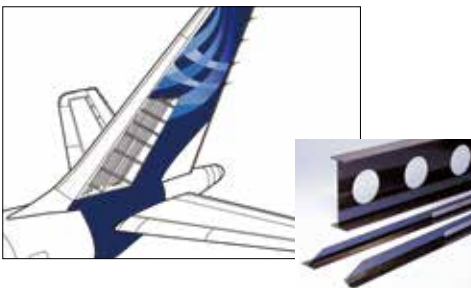
航空機器製造カンパニー



**航空機用熱交換器及び
各種航空機搭載機器の製造**



ジェットエンジン部品の製造



航空機用炭素繊維構造部材 (ADP) の製造

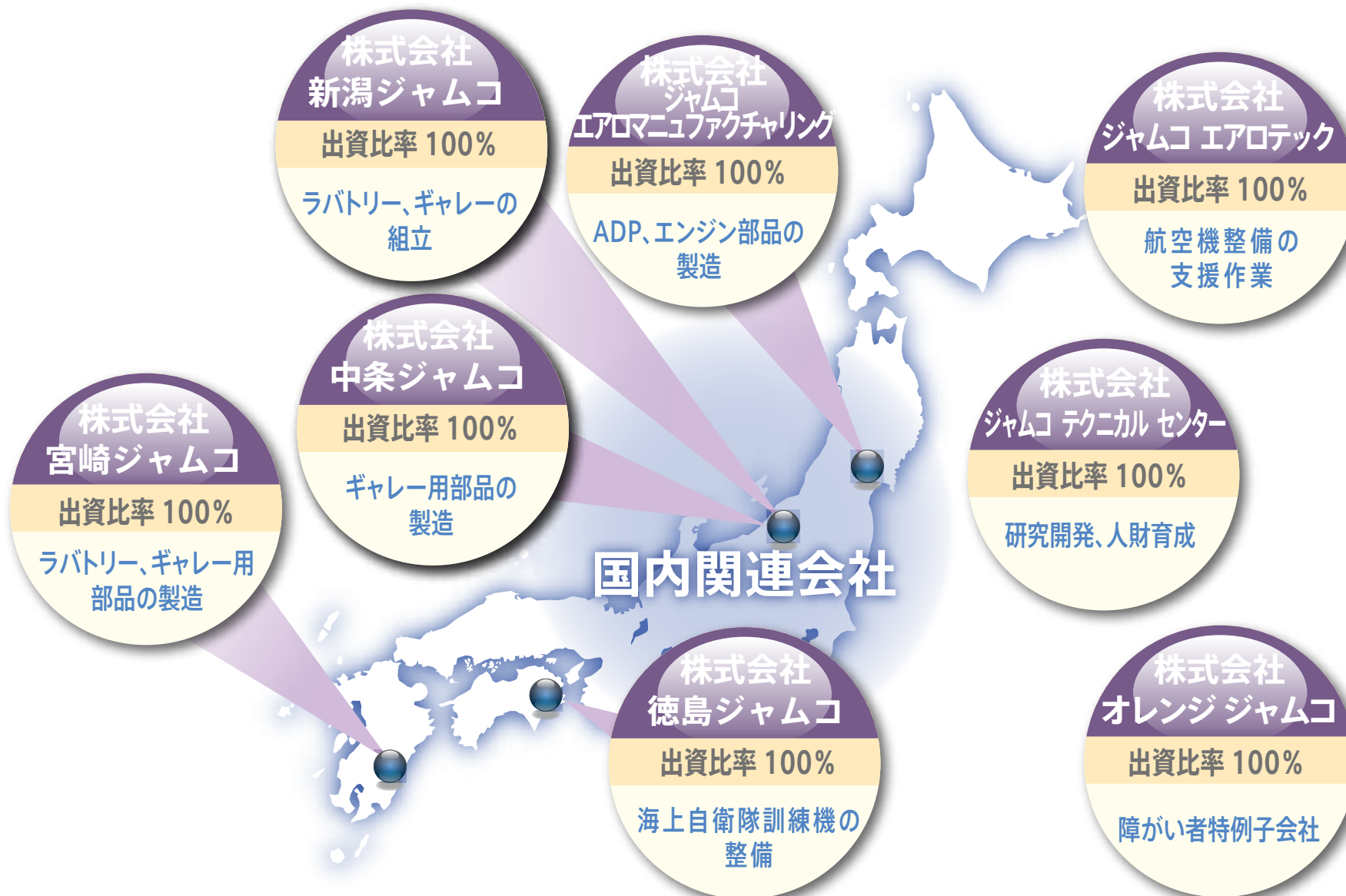
- エアバスA380用2階床構造部材
- エアバスA350を除くエアバス機の垂直尾翼構造部材

航空機整備カンパニー



防衛省、海上保安庁、国土交通省航空局、 航空大学校、エアラインなどの航空機、 装備品整備事業

- 中型・小型航空機及びヘリコプターの整備・改造
- リージョナル機の整備
- プロペラ、脚、航空電子機器の整備
- 車輪、ブレーキ、救難用ホイス（吊り上げ装置）のオーバーホール
- 大型旅客機客室内装備品の整備
- エマージェンシー フロート/ エバキュエーション スライドの整備





航空機メーカーの動向

ボーイング社の受注残機数

狭胴機

4,253 機

(前年同期 3,931機)

広胴機

1,436 機

(前年同期 1,306機)

エアバス社の受注残機数

狭胴機

5,181 機

(前年同期 4,372機)

広胴機

1,249 機

(前年同期 1,174機)

(注)2015年6月末時点

出所：Speed News Home Page 「COMMERCIAL JET AIRCRAFT PROGRAM STATUS REPORT:JUNE 30, 2015」

新型旅客機の開発・生産状況

■ 777Xの開発状況

- 2016年生産開始、2020年に初号機引き渡し予定
- 2015年10月末日現在、受注残機数は306機

■ 787の生産状況

- 2015年10月末日現在、340機引き渡しを完了
- 2015年10月末日現在、受注残機数は784機

■ A380の生産状況

- 2015年10月末日現在、173機引き渡し完了
- 2015年10月末日現在、受注残機数は144機

■ A350XWBの開発状況

- 2015年10月末日現在、10機引き渡し完了
- 2015年10月末日現在、受注残機数は777機

■ A330neoの開発状況

- 2017年10月から12月に初号機引き渡し予定
- 2015年10月末日現在、受注残機数145機

■ A320neoの開発状況

- 2015年10月から12月に初号機引き渡し予定
- 2015年10月末日現在、受注残機数3,306機

(注)受注データについてはボーイング社、エアバス社HPより

ボーイング・エアバスの受注・納入状況

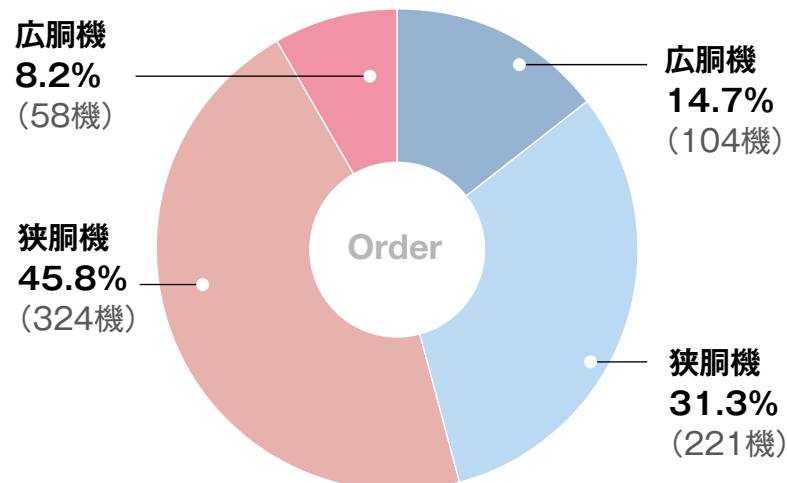
(2015年1月～6月累計)

受注状況

●エアバス社

54.0%
(382機)

●ボーイング社

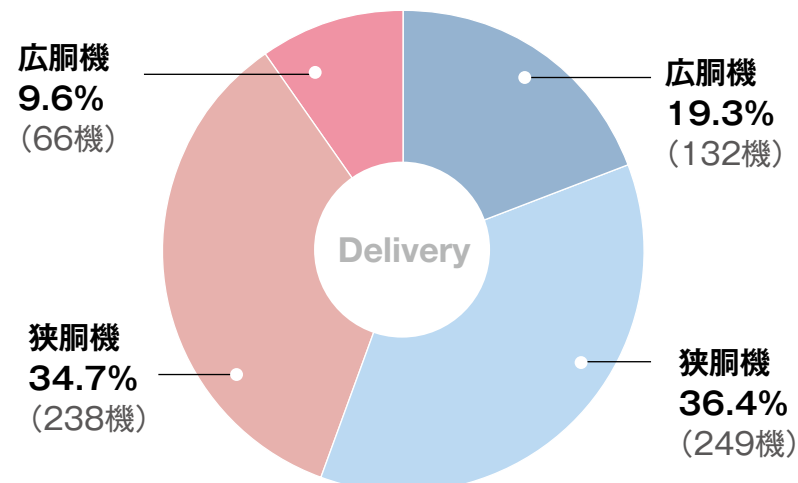
46.0%
(325機)

納入状況

●エアバス社

44.4%
(304機)

●ボーイング社

55.6%
(381機)

出所：Speed News Home Page 「COMMERCIAL JET AIRCRAFT PROGRAM STATUS REPORT:JUNE 30, 2015」

ボーイングの受注・納入状況

(2015年1月～6月累計)

	受 注	納 入	受 注 残
ボーイング合計	325	381	5,689
747	4	9	31
777	49	50	563
787	50	64	803
767	1	9	39
737	221	249	4,253

(注) ■色の機種は広胴機（ワイドボディ機）を示す。

出所：Speed News Home Page 「COMMERCIAL JET AIRCRAFT PROGRAM STATUS REPORT:JUNE 30, 2015」

エアバスの受注・納入状況

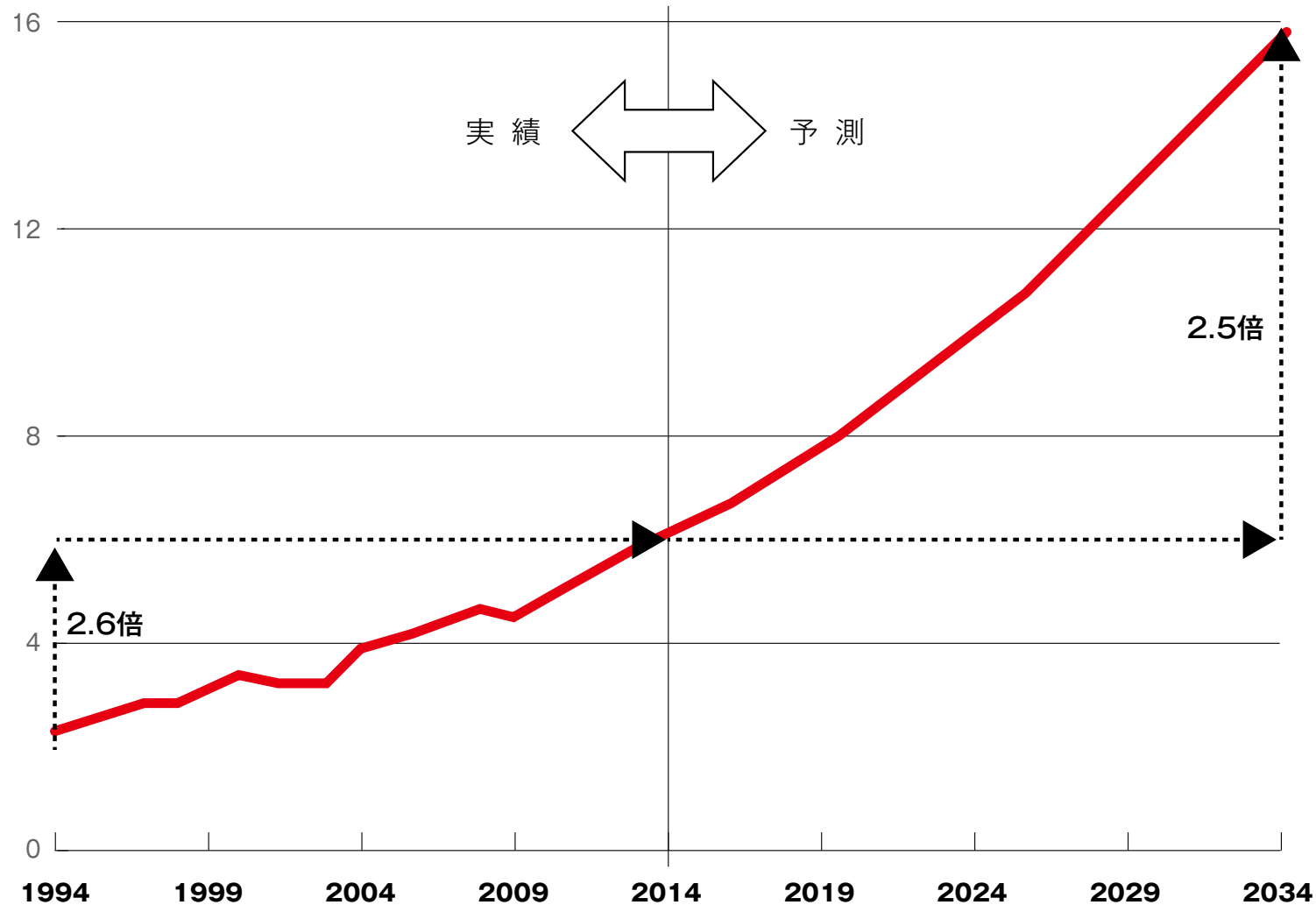
(2015年1月～6月累計)

	受 注	納 入	受 注 残
エアバス合計	382	304	6,430
A380	0	13	152
A350	1	4	776
A330	57	49	321
A321	26	79	507
A320	297	139	4,650
A319	0	19	24
A318	1	1	0

(注) ■色の機種は広胴機（ワイドボディ機）を示す。

出所：Speed News Home Page 「COMMERCIAL JET AIRCRAFT PROGRAM STATUS REPORT:JUNE 30, 2015」

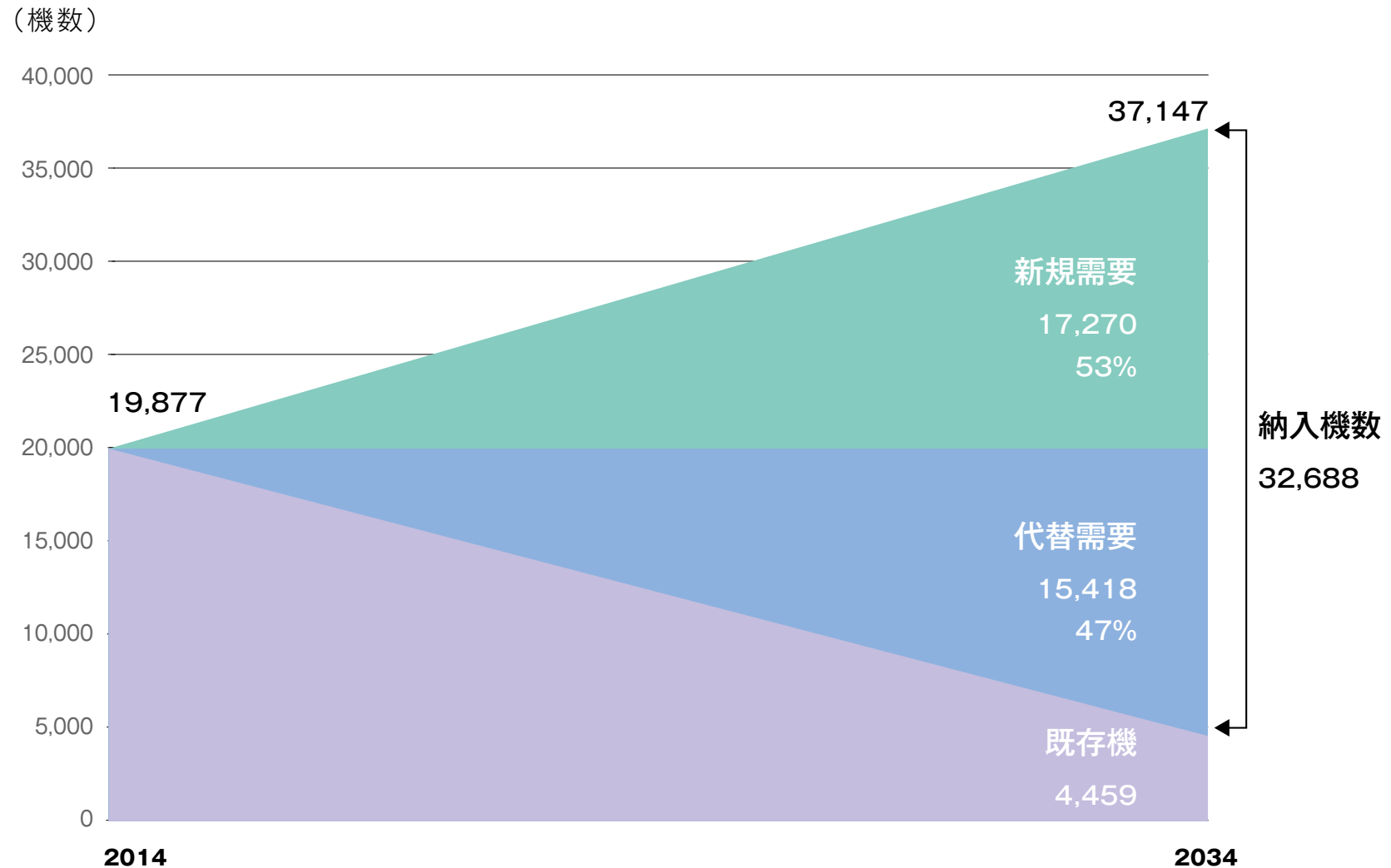
世界の航空旅客予測

航空旅客輸送量
(兆人キロメートル)

出所: (財)日本航空機開発協会「平成26年度民間輸送機に関する調査研究」

ジェット機の運航機材構成予測

ジェット旅客機の需要予測結果



出所: (財)日本航空機開発協会「平成26年度民間輸送機に関する調査研究」

技術を翼に世界の空へ

 **Jamco**
ALWAYS FLY TOGETHER



Always Fly Together